

テスターとデベロッパーの新しい関係

株式会社チェンジビジョン
平鍋健児

当日資料に、この付箋で話したことを追記しています。写真だけでほとんど意味なさなかったの。。。。

平鍋健児



- (株)永和システムマネジメント
 - 福井市（本社）、上野東京（支社）
 - Ruby と Agileを使ったシステム開発
- 株式会社チェンジビジョン
 - 福井市（開発部）、上野東京（本社）
 - astah* (旧：JUDE) の開発
- 活動
 - UML+マインドマップエディタ astah*の開発
 - 要求開発アライアンス、理事
 - 翻訳、XP関連書籍、『リーン開発の本質』、『IMPACT MAPPING』等多数。
 - 著書『アジャイル開発とスクラム』、『要求開発』、『ソフトウェア開発に役立つマインドマップ』

会場のみさんに「astah をご存知の人」と聞いたところ、約90%の方が手を挙げて頂きました。ありがとうございます。下の本は書いたり訳した本。アジャイルとモデリングを日本の現場に紹介してきました。



『アジャイル開発とスクラム』



- 顧客・技術・経営の3者をつなぐために、アジャイルと日本経営の接合点を探る
- 海兵隊の組織とアジャイル
- 知識創造プロセスとアジャイル
- 実践知リーダーとアジャイル
- 富士通・楽天・リクルートの事例
- Jeff Sutherlandインタビュー

アジャイルを上司に説明するならこの本です。

平鍋健児＋野中郁次郎著

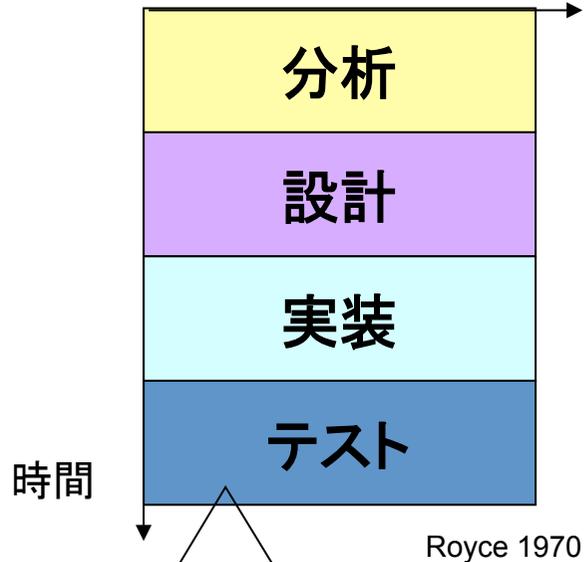


ぼくが初めてアジャイルの中でのテスターについて考えさせられたのは、Salt Lake City の ADC2003。Kay Johansenがテスターセッションをやっていた。彼女は自分がテストの部門に属して、どのようにアジャイル開発に貢献できるか考えていた。このキャンディは、デベロッパーが彼女の席までインシデントのことを聞きにきた時に上げるもの。話すきっかけをオープンに作るツールだ。ぼくはこの時はじめて、アジャイルの持つコミュニケーションの意味について考えた。ちなみに現在彼女は Pluralsight (Utah発の急成長スタートアップ)にてアジャイル開発をしている。そこでは、テスターという明確なロールはない。チーム一体型だ。



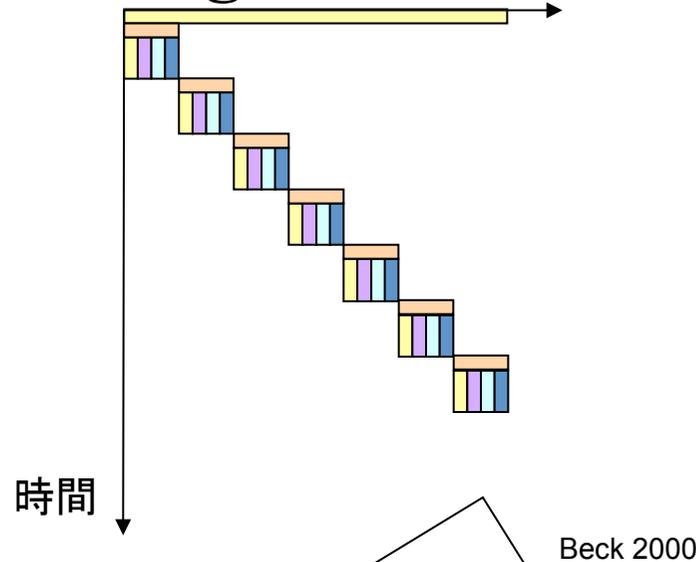
ぼくの考える理想型の話。左の写真では、開発と品賞保証が分かれており、それぞれの理解を持っている。その期間が長くなると、別々の理解が生じて後で合わせるのが難しい。この理解の不一致の期間を「短く」「早く」したい。右の写真のように、お互いが縫い合うように密着して開発を進めるのがアジャイルスタイル。

Waterfall 要求(スコープ)



最後に動くものができる

Agile 要求(スコープ)



動くものが徐々に
できあがり、成長する

6

Waterfallでは最後になってテストが出てきます。最後にテストが必要な特性をもつプロジェクトやプロダクトもあるでしょう。Agileでは1つのイテレーション(短期繰り返し単位)の中にテストが含まれます。はたして、テスト師の出番は？すでにテスト部隊がある組織はどのように貢献できるでしょう？また品質保証組織はどのように貢献できるでしょう？

“失敗から学ぶアジャイル、成功につなげるアジャイル”

2015
4/16
Thu

Agile Japan 2015

プログラム公開!!
登録開始!!

基調講演 登壇者決定!



アジャイル・テストイング

～ チーム全体のためにテストとテスターができることを学ぶ旅

Janet Gregory 氏

アジャイルコーチ、トレーナー、品質プロセスコンサルタント

【プロフィール】

ジャネット・グレゴリーはアジャイルテストイング
コンサルタントです。2009年に翻訳として出版された
A Practical Guide for Testers and Agile Teams
ちょうど昨年、その続編とも言える "More Agile
(Addison-Wesley 2014)"(日本語訳未出版)を出版
と』へも記事を寄せています)。

ジャネットはテスターが「製品への批判者」としてプロジェクトに関わる以上の価値をもたらす方法
を、アジャイルチームに示すことを得意としています。例えばビジネス面のテストで開発チームをガ
イドすることなどなど。ジャネットはチームがアジャイル開発へ移行するのを手伝いながら、アジャ
イルテストイングの教育コースやチュートリアルを世界中で教えていますし、技術雑誌である
"Better Software", "Software Test & Performance Magazine and Agile Journal"などへも寄稿していま
す。さらに、世界中の多くのアジャイル開発者から、彼女自身の経験を学ぶための講演やセミナーの

アジャイルの世界でも、テスト
の話が盛り上がっています。
二つのコミュニティをもっと繋
げて行きましょう!

関連
情報

研修プログラム
4月13日(月)&14日(火)